

## 2. 当該年度の主な事業

### 教育・研究条件の充実

3,608,194 千円

特色ある教育の充実をはかるために、教育・研究をより推進しました。

大学・短大では、学生の満足度の向上及び中途退学率の改善をはかるため、昨年度導入した「面談システム」をさらに充実させ、「HUsystem」の活用と、「学びのカルテ」による学生一人ひとりの学びの姿を可視化し教学マネジメントを推進し、教学アセスメントを実施しました。また、かねてより開設準備を進めてきた教育学部については、予定通り令和5年度に開設することができました。

研究面では、研究費のインセンティブ制度や研究成果等に基づく傾斜配分の支援方策の制度化など、令和5年度導入に向け検討を行いました。

### 学生等福利厚生の充実

計 473,384 千円

#### ・奨学金の充実

440,458 千円

経済的理由により修学が困難な学生及び学業ならびに課外活動等で優秀な成績を修め、就学意欲の顕著な学生等に給付した奨学金及び大学・短大部門では、国の修学支援制度に係る奨学費を計上しています。

#### ・学生助育及び福利厚生 of 充実

27,880 千円

活躍めざましい課外活動への補助、あるいは新入生のオリエンテーション、学生等の健康管理等、在学生生活の充実体制を整えた費用です。

大学・短大では、昨年度設置した「障がい学生支援オフィス」の効果的な運用により、学生の早期支援につながる体制整備を行いました。

#### ・キャリア教育支援

5,046 千円

建学の精神に基づき、「和」のこころを持ち、学園訓「感謝」「寛容」「互譲」を大切にす人材を育成します。加えて、知識偏重型の学習ではなく、学生が「何ができるようになるか」（知識活用型）の学習を重視することで、人間力と応用力とを備えた「ありがとうのプロフェッショナル」を育成を図りました。

就職支援、資格取得を重点課題として積極的に取り組んだ費用です。

### 教育環境の充実

計 364,492 千円

施設・設備の充実は在学生生活を豊かにするという基本理念のもと、今後も本学園の歴史を未来に活かし、交流の場となるキャンパスづくりを推進するため、逐次充実を図りました。

神戸国際中学・高校では、前年度に引き続生徒1人に1台のタブレットPCの配付を行いました。

附属須磨幼稚園では屋上に人工芝を張り、園児の遊べる場所を整備しました。

(※修繕費・清掃費・光熱水費・保険料等の管理維持費の費用を含んでいます。)

## 地域に開かれた学園づくり

59,380 千円

学園の基本目標である「地域に愛される睦」「質を重視する睦」を目指して、自治体・企業・地域住民等に向け、全学的に推進している共同研究、公開講座、公開授業等を広く社会にアピールしました。

大学・短大では、地域の知の拠点、交流の場として地域にとってなくてはならない高等教育機関であり続けることを目指しています。

また、社会的ニーズに対応したりカレント教育の提供も積極的に提供しています。

大学の発展のみに留まらず、共に活動する中で豊かな社会の実現をめざし、学生の社会参画を目指し、高等教育機関としてSDGsを推進しています。

## 国際交流の充実

3,623 千円

海外の学校との交流や海外研修制度の充実など、教育の国際化を積極的に推進しています。

大学・短大では、「グローバル人材の育成」を積極的に推進するため学生の異文化体験の「場」であり、留学生に対する日本語教育や各種サービスを担う「留学・国際交流センター」を開設しました。

神戸国際中学・高校では、NZの語学研修を再開、兵庫大学と連携してハワイ大学への語学研修を実施しました。

## 志願者数の確保

128,841 千円

安定した学生等確保の対策を強化し、より教育研究の向上を目指しています。

入試説明会、オープンキャンパス、個別学校訪問、入学予定者対象の「フォローアッププログラム」や附属須磨ノ浦高等学校との連携教育などを積極的に行いました。

また、本学の教育内容をSNS等を活用し、積極的に発信して、安定した学生等確保の対策を強化しました。

神戸国際中学・高校では、前年度に引きオープンスクールの実施とミニ学校説明会を実施回数を増やし、広報しています。